

IS

LEXUS、「IS」の新型モデルを世界初公開

—走る楽しさとスポーティなデザインを追求し続けてきたコンパクト FR スポーツセダンの熟成—

- ドライバーがクルマと対話できる気持ちのいい走りの追求
- アグレッシブさを突き詰めたよりスポーティな内外装デザインの進化
- 「Lexus Safety System +」の進化やマルチメディアシステムの刷新により、安全・安心な運転をサポート



LEXUS IS（プロトタイプ）

LEXUSは、9月9日（火）に「IS」の新型モデルを世界初公開しました。2026年初頭以降、順次各地域で発売を予定しております。

ISは1999年の初代モデル誕生以降、コンパクト FR スポーツセダンとして「クルマを操る楽しさ」を追求してきました。LEXUSの乗り味の礎となるべく進化を続け、運動性能の高さとそれを予感させるスポーティなデザインで好評を博し、四半世紀以上に渡ってグローバル約40の国と地域で累計約130万台を販売してきました。開発においては、Toyota Technical Center Shimoyamaをはじめとする世界各地で走り込み、LEXUSならではの走りの味「Lexus Driving Signature」を追求し続けています。

今回のモデルでは、IS300hとIS350の2種類を設定^{*1}しました。「熟成」を開発のキーワードとし、これまでISが追求してきた「ドライバーがクルマと対話できる気持ちのいい走り」と「アグレッシブでスポーティなデザイン」にさらに磨きをかけました。

走りにおいては、気持ちのいい操舵感と車両安定性のさらなる深化を目指しました。電動パワーステアリング【EPS^{*2}】では、パリアブルギヤ^{*3}を採用することで交差点や連続コーナーでの操舵角を抑え、より快適な操舵フィールを徹底的に追求。また、リニアソレノイド式AVS^{*4}の採用により、車両挙動安定と路面からのショック低減を高次元で両立し、さらなる気持ちの良いドライビングを実現しました。

エクステリアでは、低重心かつワイドなスタンスをさらに強調した新たなフロントフェイスにより、力強く精悍なスタイルをより際立たせたデザインへと刷新しました。“F SPORT”には、空力性能を強化した新形状のリヤスポイラーや19インチ軽量アルミホイール^{*5}を設定しました。

また、ボディカラーは、硬質なライトグレーにメタリックを加えることで、駆け抜けるような走りの世界観を表現したニュートリノグレーを新たに加えた計8色^{*1}を設定。スポーティな世界観を演出するカラーラインアップで、お客様のニーズに寄り添う選択肢をご提案します。

インテリアでは、コンパクトFRスポーツセダンのコックピットとして最も重要である機能性を考慮し、運転に集中できるデザインとしました。センターディスプレイは、12.3インチに大型化するとともに、ドライバーの視界に配慮した高い視認性・操作性を確保。同時に、運転席正面のTFT液晶メーターも12.3インチに大型化し、シンプルでわかりやすいグラフィック表示とすることで、ドライバーが視覚的な情報をダイレクトに受け取ることができる運転環境を提供します。デザインにおいては、コンソール上面とスタートスイッチベゼルに新規開発のオーナメントパネル「Forged bamboo」を採用することで、竹繊維の特徴的な陰影により、ISの力強い躍動感とスポーティなインテリアを演出しました。また、インテリアカラーには、太陽を覆う紅炎をイメージした新規開発の「PROMINENCE（プロミネンス）」を設定し、アグレッシブでスポーティな室内を目指しました。

他にも、予防安全技術「Lexus Safety System +」の機能拡充や、高度運転支援技術アドバンスト ドライブ [Lexus Teammate Advanced Drive^{*6}] の搭載により、長距離移動などにおける運転をサポートし、お客様の移動時間をより快適にします。

<新型ISの主な特長>

① ドライバーとの対話に優れた走りの熟成

- ・電動パワーステアリング〔EPS〕のラック平行式への変更とバリアブルギヤの採用により、リニアな操舵フィールを実現
- ・スムーズな減衰力制御と素早い応答性を備えたリニアソレノイド式AVSの採用により、車両挙動の安定性と路面入力によるショック感の低減を両立

② ISらしいアグレッシブさを突き詰めたエクステリアデザイン

- ・低重心かつワイドなスタンスをさらに強調した新たなフロントフェイスへ刷新

<“F SPORT”>

- ・ボディカラーは、ニュートリノグレーを新たに加えた計8色を設定
- ・新意匠の19インチ軽量アルミホイール
- ・空力性能を強化した新形状のリヤスポイラーを採用
- ・LEXUSロゴ入りのレッドブレーキキャリパーを採用（メーカーオプション）

③ 運転に集中できる環境を目指したインテリアデザインと最新マルチメディアシステムの採用

- ・インストルメントパネル、センターコンソール、メーター、フロントドアトリムの意匠刷新
- ・センターディスプレイを全車12.3インチタッチパネルディスプレイに統一
- ・液晶メーターを12.3インチフル液晶メーターに変更
- ・オーナメントパネル（コンソール上面とスタートスイッチベゼル）には、新規開発の「Forged bamboo」を設定
- ・インテリアカラーには、新規開発色の「PROMINENCE（プロミネンス）」を設定

④ より安全で快適な運転をサポートする装備の拡充

- ・先進予防安全技術 Lexus Safety System + の機能拡充
- ・高度運転支援技術アドバンスト ドライブ [Lexus Teammate Advanced Drive] （高速渋滞時ハンズオフ機能）

Lexus International チーフエンジニア 武藤 康史

『ISを熟成するにあたり、『ドライバーの意図がクルマに、また、クルマの挙動がドライバーに正確に伝わる“対話』を念頭に置き、さらなる高みを目指して妥協なく開発を続けてきました。ISの特徴でもある上質な乗り心地と優れた車両コントロール性を進化させるのはもちろんのこと、細部にこだわったインテリアデザインの刷新、Lexus Safety System+の予防安全技術の進化、最新マルチメディアシステムの採用などにより、車室内でも操る楽しさを感じられるモデルへと進化を遂げました。新たに生まれ変わったISで運転する喜びをぜひご体感ください。』

IS主要諸元（プロトタイプ値）

	IS350		IS300h
駆動	FR	AWD	FR
トランスミッション	8AT	6AT	電気式無段変速機
全長	4,720mm (+10)		
全幅	1,840mm (±0)		
全高	1,435mm (±0)	1,440mm (±0)	1,435mm (±0)
ホイールベース	2,800mm (±0)		
乗車定員	5名		
タイヤサイズ*7	18インチ／19インチ		

（）括弧内は従来型比

<新型 IS の主な特長>

ドライバーとの対話に優れた走りの熟成

- ・電動パワーステアリング [EPS] には、低慣性モーターを採用するとともに、従来のラック同軸式からラック平行ギヤ（バリアルギヤ）を採用しました。これにより、よりリニアでスムーズなステアリングフィールを実現し、コーナーの連続するワインディング路から高速道路でのレーンチェンジに至るまで、様々な場面でのスムーズなハンドリングを楽しむことができます。
- ・AVS では、従来のステップ式アクチュエーターから、新規開発の内蔵式リニアソレノイドアクチュエーターを採用しました。これにより、減衰力応答性が約 4 倍向上。応答性のよい可変減衰力により、フラットなばね上の挙動と路面入力によるショックの低減を両立します。



LEXUS IS 内蔵式リニアソレノイドアクチュエーター（プロトタイプ）

IS らしいアグレッシブさを突き詰めたエクステリアデザイン

- ・ブレーキダクトを取り込み低く構えたスピンドルグリルで、低重心かつワイドなスタンスをさらに強調した新たなフロントフェイスにより、ISらしいアグレッシブさとスポーティさをより際立たせたデザインへと刷新しました。
- ・“F SPORT”には、空力性能を強化した新形状のリヤスポイラーを採用。床下から車両背面へ巻き上がる空気の流れを増加させることで、リヤの揚力を低減し、優れた空力操安性能を実現しました。



LEXUS IS (プロトタイプ)

- ・ボディカラーは、スポーティに駆け抜けるような走りの世界観を表現したニュートリノグレーを新たに加えた計8色を設定しました。
- ・足回りでは、アルミホイールの意匠を一新しました。

<IS350／IS300h "F SPORT">

新意匠の19インチ軽量アルミホイールを設定。細軸スポークのタイトなデザインにグロスブラックメタリックを施し、優れた運動性能をより際立たせます。加えて、メーカーオプションとして、LEXUSロゴ入りのレッドブレーキキャリパーを採用しました。

<IS350／IS300h "version L">

19インチアルミホイールは、従来のシャインシルバーメタリックからダーククリア塗装+切削光輝へと変更。グロスブラックをベースに切削光輝処理を施し、スモーククリアを塗布することで、より引き締まった足元を演出します。

<IS350／IS300h>

18インチアルミホイールは、従来のシルバーメタリックからダークプレミアムメタリックへと塗装色を変更。奥行感とスポーツの立体感により、タイト&スポーティなイメージを強調します。



LEXUS IS 19インチ軽量アルミホイール（プロトタイプ）

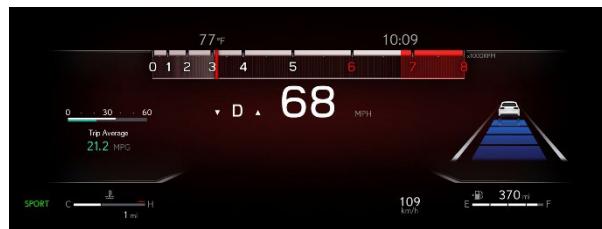
運転に集中できる環境を目指したインテリアデザインと最新マルチメディアの採用

- ・マルチメディアシステムの刷新とともに、ドライバー席周辺の表示操作系は、人間工学に基づいた機能レイアウトに加え、レクサスのスムーズな視線移動、「Tazuna Concept」の考え方に基づき、デザインと使いやすさの両立を徹底追求しました。
- ・センターディスプレイを全車12.3インチタッチパネルディスプレイに統一しました。搭載位置と角度を工夫することで、センターディスプレイの高さがドライバーの視界を妨げず、走行中でも操作しやすいコックピットを構築しました。



LEXUS IS コックピット（プロトタイプ）

- ・メーターパネルに 12.3 インチフル液晶メーターを採用することで、視認性がさらに向上しました。加えて、シンプルで分かりやすいグラフィックを用いつつ、お客様の多様なニーズに応えられるよう、表示コンテンツの細かなパーソナライズにも対応しました。

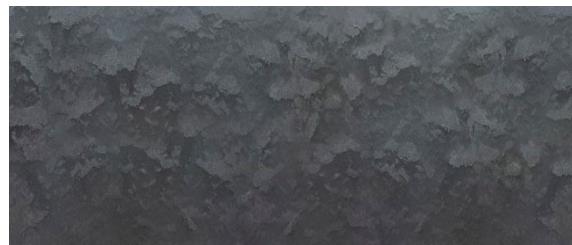


LEXUS 12.3 インチフル液晶メーター（プロトタイプ）

- ・オーナメントパネル（コンソール上面とスタートスイッチベゼル）には、LEXUS のブランドシグネチャーマテリアルとして活用してきた竹材を用いて、新たに「Forged bamboo」を開発し、採用しました。材料に織り込まれた竹繊維による唯一無二の特徴的な陰影が、ISの力強い躍動感とスポーティなインテリアを演出します。



LEXUS コンソール（プロトタイプ）



LEXUS Forged bamboo（プロトタイプ）

サステイナブルなクルマづくりの実現を目指す LEXUS は、繰り返しリサイクルをしても物性（物質が有する性質）低下が少なく、サーキュラーエコノミー（循環経済）の上でも貢献が期待できるという竹材の持つ可能性に注目し、採用を進めてきました。

今回 IS の内装に採用した「Forged bamboo」は、2023 年の JAPAN MOBILITY SHOW で発表した「Bamboo CMF^{*8}Concept」の概念に基づき開発された素材の一つであり、市販車での採用は IS が初となります。今回の IS を皮切りに、今後他モデルにも「Forged bamboo」を採用していくことで、サーキュラーエコノミーの実現と、地域経済や社会への貢献を推進して参ります。

- ・インテリアカラーには、新規開発色の「PROMINENCE（プロミネンス）」を設定。太陽を覆う神秘的な紅炎をイメージした彩度の高いカラーが、室内のアグレッシブでスポーティなイメージを演出します。（“F SPORT”）



LEXUS 室内イメージ（プロトタイプ）



LEXUS シート（プロトタイプ）

- ・インストルメントパネル中段部に、運転時の邪魔にならない水平基調のラインイルミネーションを配置し、そこから漏れる間接光で室内空間を彩りました。照明の色は美しい自然現象などから着想した計14色のテーマカラーに加えて、好みに合わせて選べる50色のカスタムカラーを設定しました。



LEXUS 室内イルミネーション（プロトタイプ）

- ・オーディオシステムには、レクサスプレミアムサウンド10スピーカーシステムを全車標準設定。加えて、マークレビンソン¹⁷スピーカーシステムをメーカーオプションで設定しました。包み込まれるような心地良さと深い表現力をを目指し、スピーカーの最適配置と音質のチューニングにこだわりました。
- ・高出力化したUSB端子(Type-C)をセンターコンソール前方に2ヶ所配置しました。また、センターコンソール後端にも、充電用にUSB端子(Type-C)を2ヶ所配置し、利便性に配慮しました。
- ・センターコンソール前方のワイヤレス充電スペースは、お客様が使いやすい位置に配置しました。各種スマートフォンに対応出来るサイズとしたGen5(充電規格：Qi)を採用しています。



LEXUS ワイヤレス充電スペース（プロトタイプ）

より安全で快適な運転をサポートする装備の拡充

◆ 機能の拡充と性能向上を図った予防安全パッケージ「Lexus Safety System +」*1

△主な性能向上機能

- ・プロアクティブドライビングアシスト [PDA*9] 採用

「歩行者の横断」「飛び出してくるかもしれない」など、運転の状況に応じたリスクの先読みを行うことで、危険に近づきすぎないよう運転操作をサポートし、ドライバーの安心につなげます。さらに先行車や前方のカーブに対して減速操作をサポートし、頻繁な踏みかえ操作を軽減することにより、一般道などのシーンでドライバーの運転に寄り添いやさしくサポートする機能です。以下5つを備え、運転状況に応じて適切な操作をサポートします。

- 歩行者／自転車運転者／駐車車両に対する操舵・減速支援
- 先行車に対する減速支援
- カーブに対する減速支援
- 信号交差点に対する右左折時減速支援
- 車線内走行時常時操舵支援

- ・プリクラッシュセーフティ [PCS*10] の対象範囲・支援機能拡大（対自転車運転者 [夜]、自動二輪車 [昼]、交差点衝突回避支援 [出会い頭車両]）

プリクラッシュセーフティの対象範囲を、従来の歩行者 [昼夜]、自転車運転者 [昼] に加え、自転車運転者 [夜] および自動二輪車 [昼] まで拡大しました。また、支援機能については、交差点衝突回避支援の範囲を従来の右左折に加え、出会い頭車両まで拡大したほか、アクティブ操舵機能付きの緊急時操舵支援、フロントクロストラフィックアラート [FCTA]、ドライバーモニター連携などの機能を追加しました。

- ・レーダークルーズコントロール [ACC*11] の支援機能拡大

ミリ波レーダーおよび単眼カメラの検知範囲拡大などにより、前方認識範囲を拡大したことで、先行車認識、進路判定、割り込み車検知などに対し、すぐれた認識性能を確保しました。また、音声対話サービスを使用し、設定車速と車間設定の変更が可能です。

- ・ロードサインアシスト [RSA*12] の支援機能拡大

道路標識や信号に従っていないとシステムが判断した場合の、ドライバーへの告知機能（表示の反転や点滅、ブザーなど）について、従来の「最高速度」「車両進入禁止」に加え、「赤信号」を追加しました。

- ・発進遅れ告知機能 [TMN*13] の支援機能拡大

先行車の発進を知らせる発進遅れ告知機能に、信号切り替わり時の対応が追加しました。

- ・レーンチェンジアシスト [LCA*14] の車線変更支援

高速道路や自動車専用道路（一部を除く）を走行中、車線維持支援機能が作動中にレーンチェンジのための操舵、加減速、車線変更先車両監視の支援を行います。ドライバーのワインカー操作が支援開始の合図となり、レーンチェンジの操舵支援を行います。

- ・ドライバーモニター装着車は、以下の機能がお客様の運転をサポートします。

- プリクラッシュセーフティ [PCS]
- レーダークルーズコントロール [ACC]
- レーンディィパーチャーアラート [LDA*15]
- ドライバー異常時対応システム

- ・ソフトウェアアップデート

DCM (Data Communication Module) による無線通信で、レクサス販売店へ入庫することなく性能向上のためのソフトウェア更新が可能な OTA (無線通信) によるソフトウェアアップデート機能を設定しました。OTA によるソフトウェア更新中も、通常通りの車両走行、Lexus Safety System+ 機能が使用可能。ソフトウェアの更新は、エンジンスイッチ/パワースイッチ ON 時のみ実施されます。

- ・プラスサポート

専用キーでのドア解錠でプラスサポートが自動で始動します。

＜急アクセル時加速抑制＞

障害物の有無にかかわらず、アクセルの踏み過ぎや踏み間違いを検知するとクルマの加速を抑制し、「アクセルが踏まれています」との音声発話と警報ブザー、ディスプレイ表示でドライバーに注意喚起する機能です。

＜Lexus Safety System+ の機能拡大＞

プラスサポートモードが ON の場合、Lexus Safety System+ 各機能の挙動（警報タイミングや音声発話の有無）を、より安全な運転に繋がる方へ拡大します。

- プリクラッシュセーフティの交差点対向車注意喚起の作動
- ロードサインアシスト [RSA] で音声発話による注意喚起実施など

◆ 高度運転支援技術 アドバンスト ドライブ [Lexus Teammate Advanced Drive] (渋滞時支援)

一部の高速道路や自動車専用道路の本線上の走行を支援するシステムが Advanced Drive (渋滞時支援) です。自動車専用道路での運転において、渋滞時 (0km/h～約 40km/h) レーダークルーズコントロール及びレーントレーシングアシストの作動中に、ドライバーが前を向いているなど一定の条件を満たすとシステムが作動。認知、判断、操作を支援することで、ドライバーは渋滞時の疲労軽減が可能となり、より周囲に注意を払った安全運転が可能です。

*1 地域／仕様によって異なります。国内は、IS300h (FR) のみ発売予定です。

*2 EPS= Electric Power Steering

*3 FR

*4 AVS= Adaptive Variable Suspension system

*5 タイヤチェーンを装着することはできません。

*6 人とクルマが気持ちの通った仲間のように、お互いを高め合い共に走るというトヨタ自動車独自の自動運転の考え方「Mobility Teammate Concept」に基づいて開発。Lexus Teammate はトヨタ自動車株式会社の商標です。アドバンストドライブ (渋滞時支援) は自動で運転するシステムではありません。システムを過信せず、常に周囲の状況を把握し、必ず安全確認をしながら運転してください。

*7 地域／仕様によってタイヤサイズは異なります。

*8 Color、Material、Finish の略。クルマづくりにおける、色や素材、質感を含めたデザインを指します。

*9 PDA= Proactive Driving Assist

*10 PCS= Pre-Collision System

*11 ACC= Adaptive Cruise Control

*12 RSA= Road Sign Assist

*13 TMN= Traffic Movement Notification

*14 LCA= Lane Change Assist

*15 LDA= Lane Departure Alert

以上